

自己評価

岩手県立図書館〔指定管理者〕

お願い

取り扱いにはご留意願います。収録しております「来館者アンケート」(資料1)は、例年通り岩手県立図書館ホームページに掲載する予定です。

株式会社図書館流通センター (岩手県立図書館指定管理者)

令和7年10月から令和8年1月にかけて、「来館者アンケート」並びに「非来館サービス利用状況アンケート」を実施し、下記のとおり自己評価を行いましたので報告いたします。

来館者アンケート 【資料1】

令和7年度調査の最も大きな特徴は、回答者のうち10代が占める割合が4割に達した点である。平成25年度以降、調査期間はほぼ毎年10月いっぱいとしており、この時期はもともと10代の来館が多い時期でもある。しかし今回は割合だけでなく、回答者数においても過去最多となった。したがって、各設問の回答傾向は、この変化を前提に捉える必要がある。

利用頻度を問う設問1では、選択肢③「週1～2回」と選択肢④「月1～2回」が4～5%増加。これを10代とその他の年代に分けて集計すると、10代では選択肢③が最も多く36.2%、その他の年代では選択肢④が最も多く40.8%であった。また、利用目的を問う設問3（複数選択可）では、昨年度に引き続き選択肢⑤「館内での学習・勉強」が最も多く選択されている。年代別に見ると10代の約90%が選択肢⑤を選択し、その他の年代では選択肢①「館外貸出サービス」が約46%、選択肢②「図書館内での閲覧」が約50%、選択肢⑤が約38%であった。この結果から、10代では週末の自主学習を目的とした座席利用が多いこと、その他の年代では貸出・返却のサイクルを基軸とした図書館サービスの利用が多いことが推測できる。

設問4のうち、各サービスの満足度を問う項目では「(1)本の品揃え」の満足度が対前年度比で5%改善。また、「(6)資料の探しやすさ」及び「(7)資料展示」でも満足度が2%前後改善している。一方、それ以外の項目では満足度がやや低下し、特に「(2)辞書・郷土資料の充実」と「(8)ホームページの充実」は3%の低下となった。一方、重要度を問う項目では、全項目で重要度の低下が見られ、特に「(7)資料展示」は15%超、「(8)ホームページの充実」は9%と大きく低下していた。

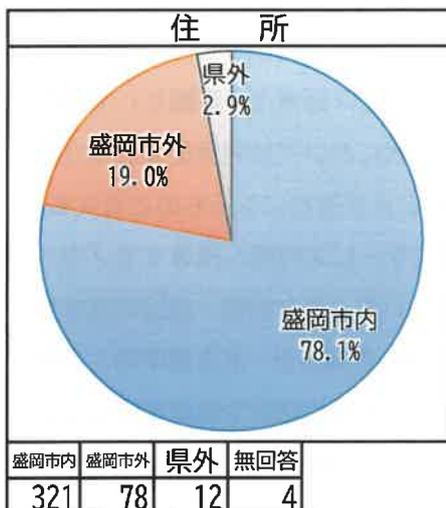
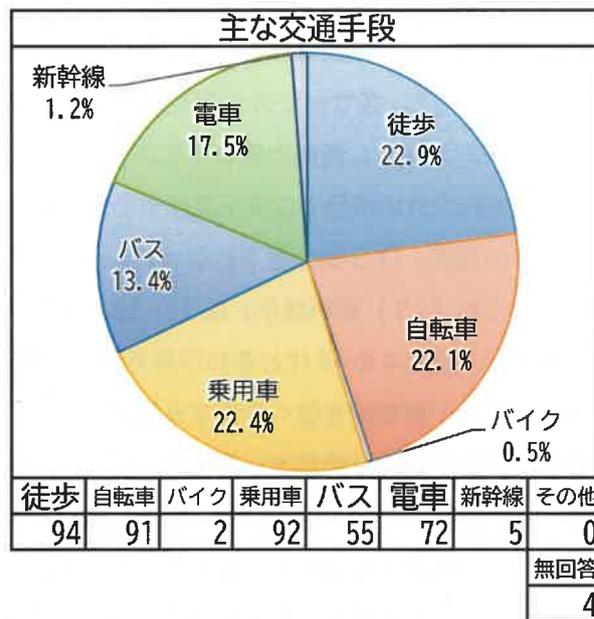
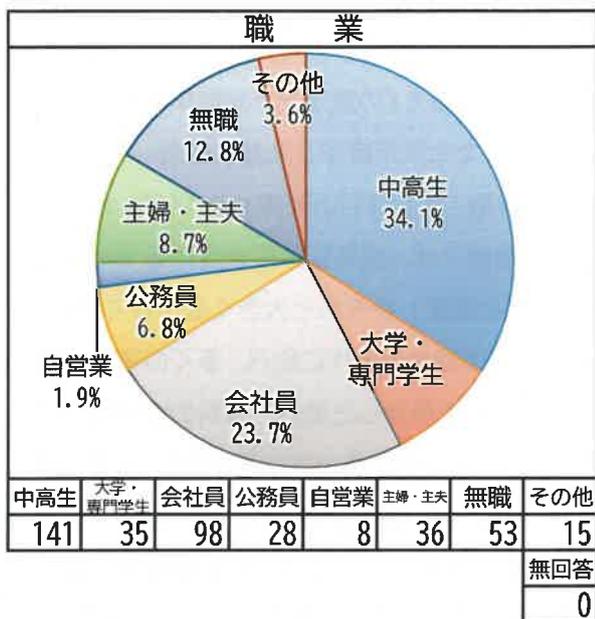
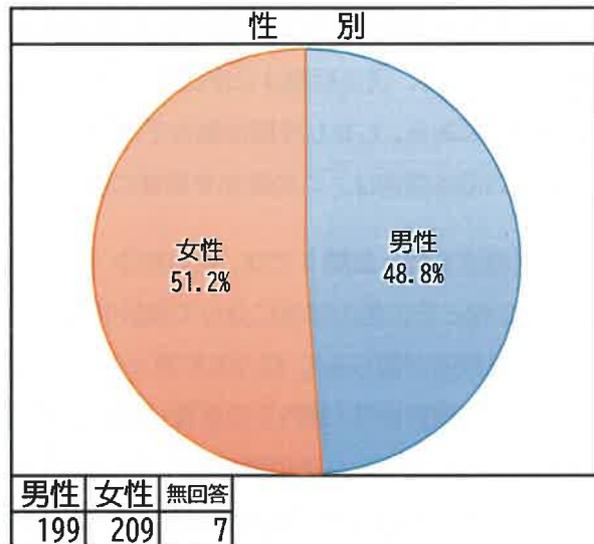
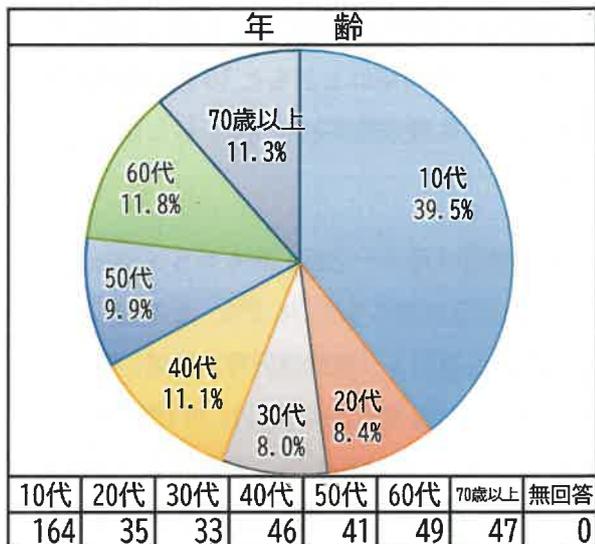
ただし、設問4を10代とそれ以外で分けて集計すると、10代では他の年代に比べ、多くの項目で満足度を高く、重要度を低く評価する傾向が見られた。10代を除いて集計した場合、資料の充実度に関する設問の満足度は依然として低く、「(1)本の品揃え」は68.3%（前年度とほぼ同水準）、「(2)辞書・郷土資料の充実」は80.1%（前年度より3%低下）、「(3)新聞・雑誌の品揃え」は77.2%（前年度より2%低下）となった。なお、「(8)ホームページの充実」については10代の方が重要度を高く評価しており、具体的に何を求めているかは不明ながらも、他年代よりも情報源としてのホームページを重視する傾向がうかがえた。

以上から、現行サービスの継続的な維持・改善はもちろん、今後のサービス運営上の課題として増加する10代をいかに図書館サービスの利用につなげるか、また、他の世代においては利用促進と県立図書館として志向すべき蔵書構成のバランスをどのように取るか、この2点が重要になるものと考えられる。

前者は近年増加傾向にある有望なユーザー層ではあるが、効率的にサービス利用へ誘導するノウハウが乏しく、また、別に集計した10代を対象としたアンケートに見られるような設備・施設の改修を伴う要望には指定管理者単独での対処が難しい。後者については資料費・収集方針・選定基準等との整合性が問われる課題である。いずれの課題についても、今次調査の特設項目の結果や他館事例なども参考にしつつ、県と指定管理者とで協力しながら検討・改善を進めていく必要があると考えられる。

令和7年度 岩手県立図書館 来館者アンケート結果

- ① 対象 : 10代以上の県立図書館来館者
- ② 実施方法 : 令和7年10月1日から10月30日までの一か月間、館内にアンケート用紙と回収箱を設置し実施。415名の方から回答をいただいた。



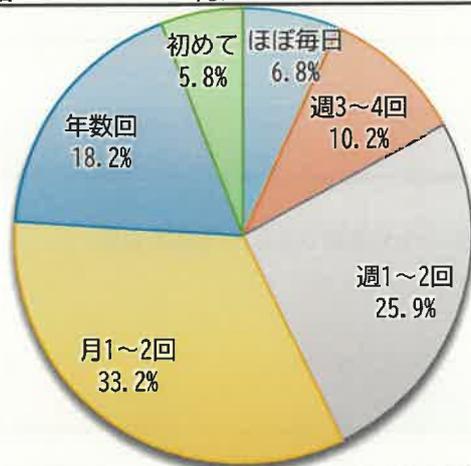
【盛岡市外】

市町村名	人数	市町村名	人数
八幡平市	8	奥州市	1
雫石町	5	一関市	1
滝沢市	19	釜石市	1
矢巾町	9	久慈市	2
紫波町	8	洋野町	2
花巻市	16	一戸町	1
北上市	1	無回答	2
遠野市	2		
合計		78	

【県外】

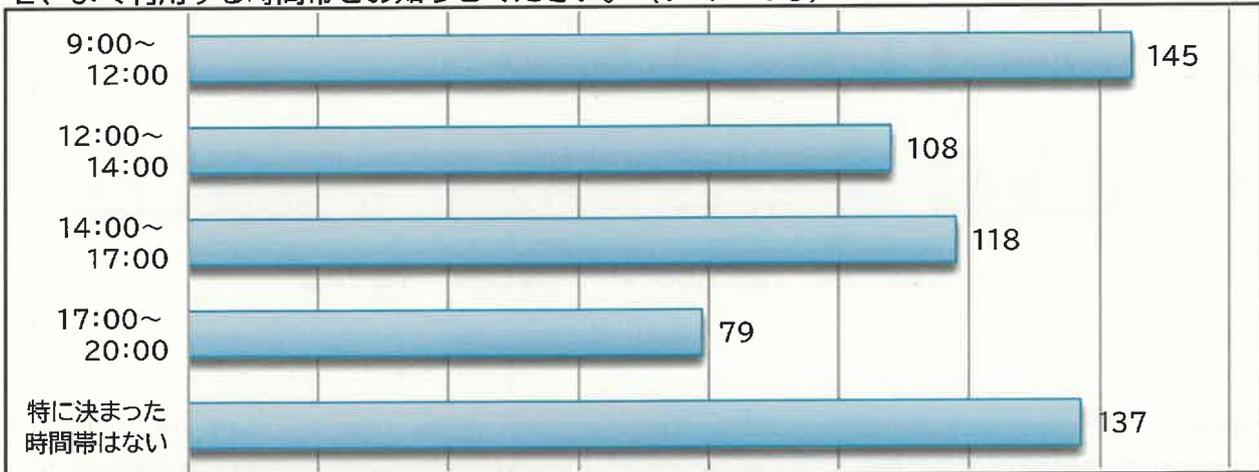
都道府県名	人数
青森県	2
秋田県	4
埼玉県	1
東京	3
千葉	1
新潟県	1
合計	12

1、県立図書館をどのくらい利用されていますか？

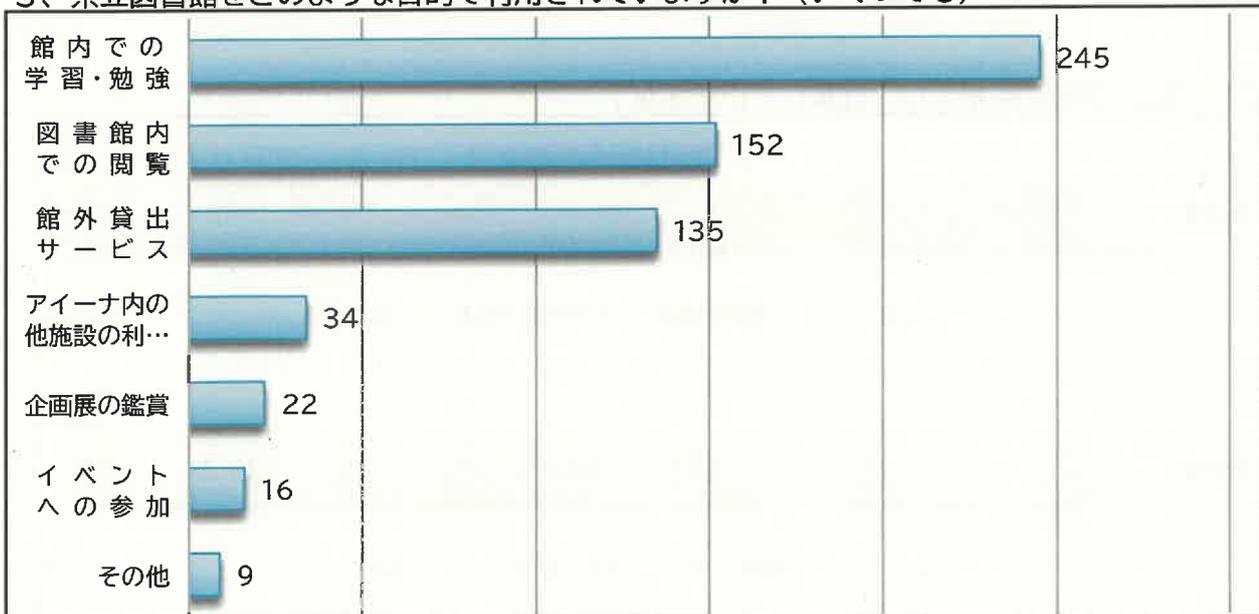


ほぼ毎日	週3~4回	週1~2回	月1~2回	年数回	初めて	無回答
28	42	107	137	75	24	2

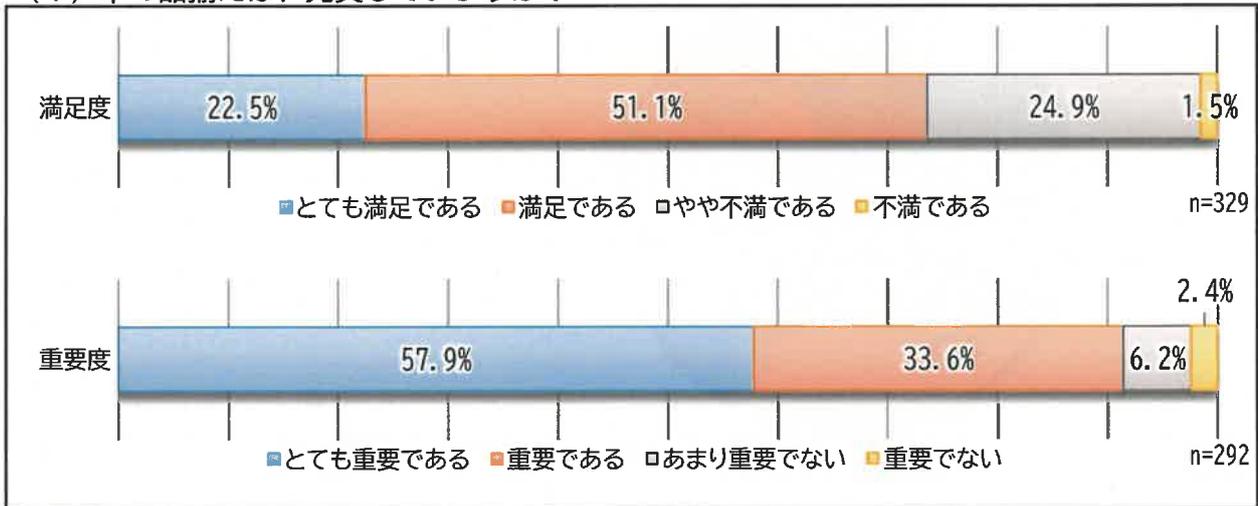
2、よく利用する時間帯をお知らせください。(いくつでも)



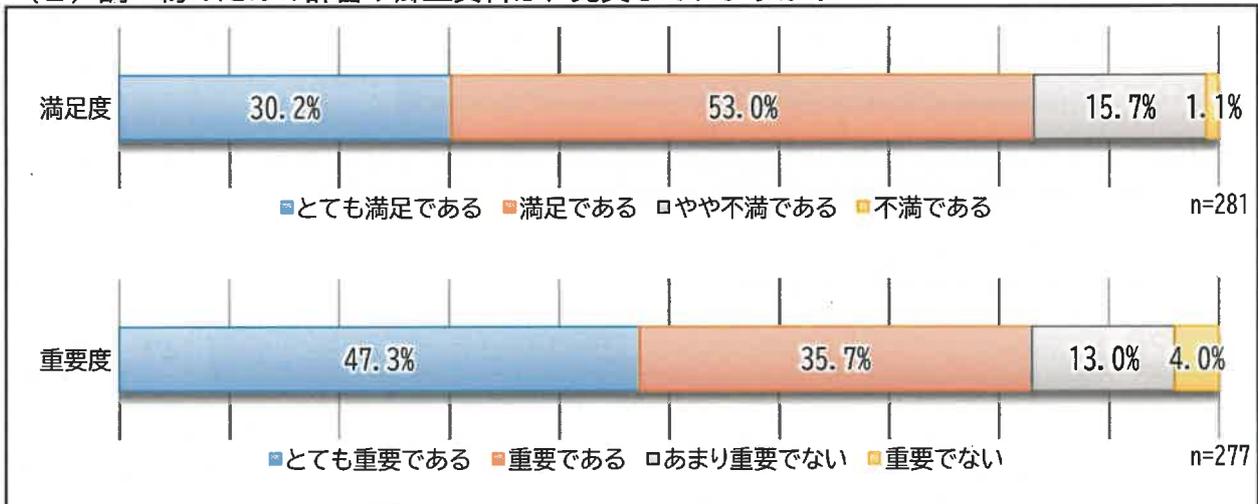
3、県立図書館をどのような目的で利用されていますか？(いくつでも)



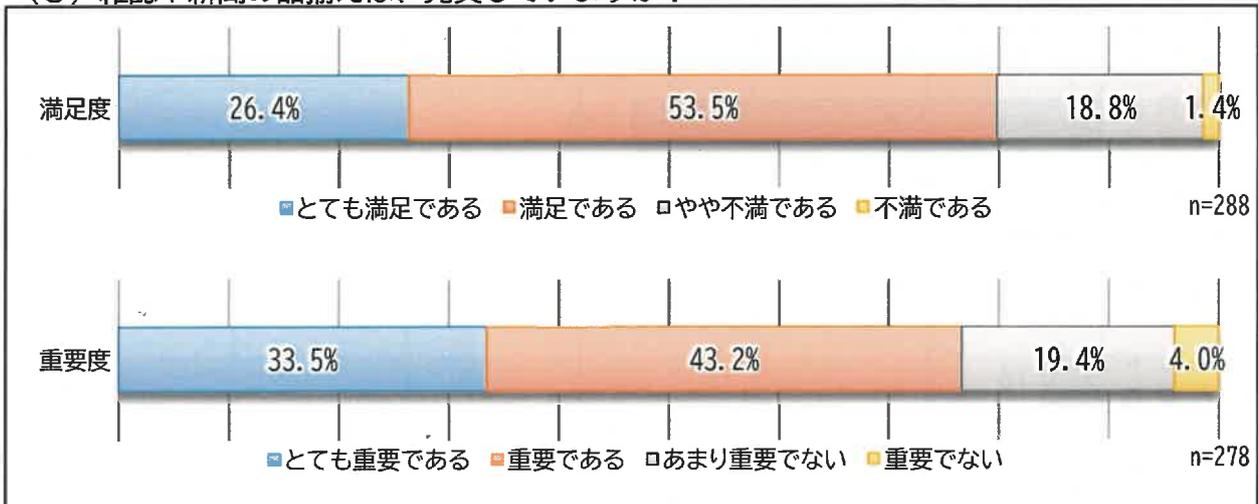
4、次の質問項目について、「満足度」と「図書館を利用するうえでの重要度」をお知らせください
 (1) 本の品揃えは、充実していますか？



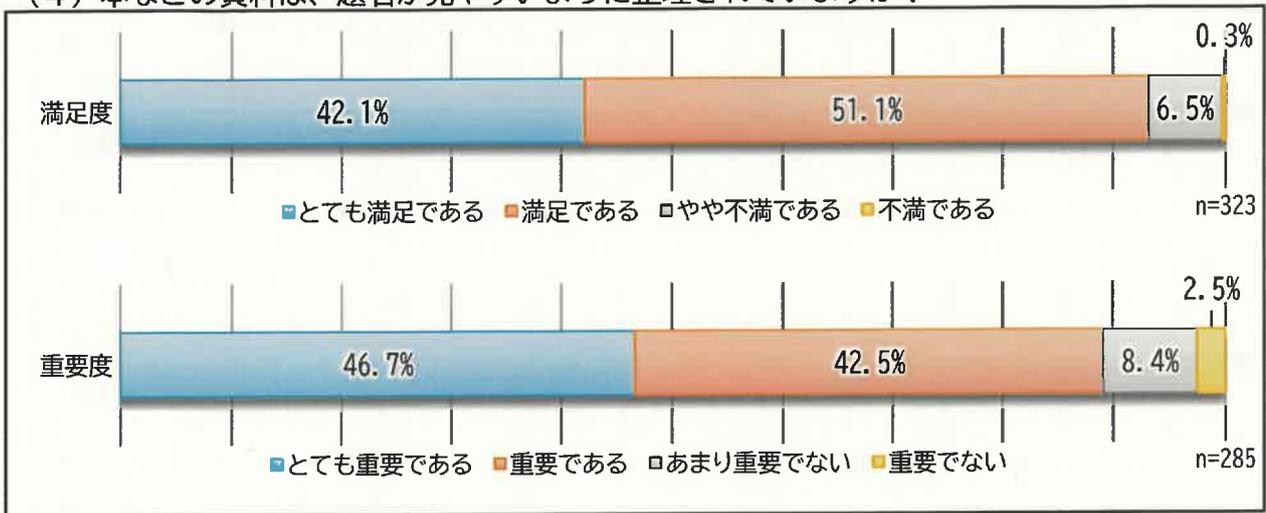
(2) 調べ物のための辞書や郷土資料は、充実していますか？



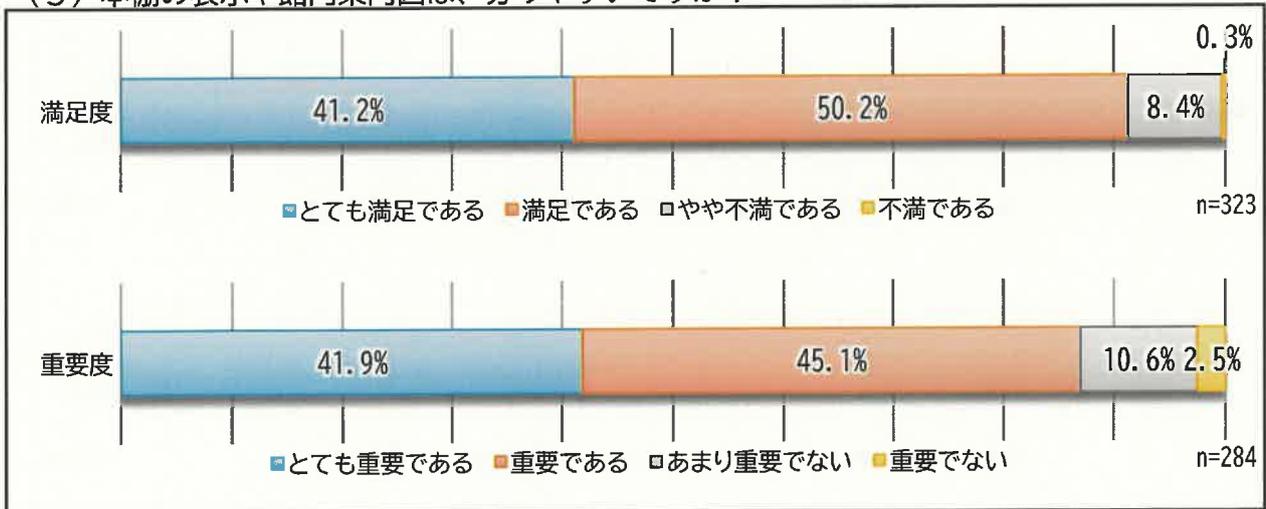
(3) 雑誌や新聞の品揃えは、充実していますか？



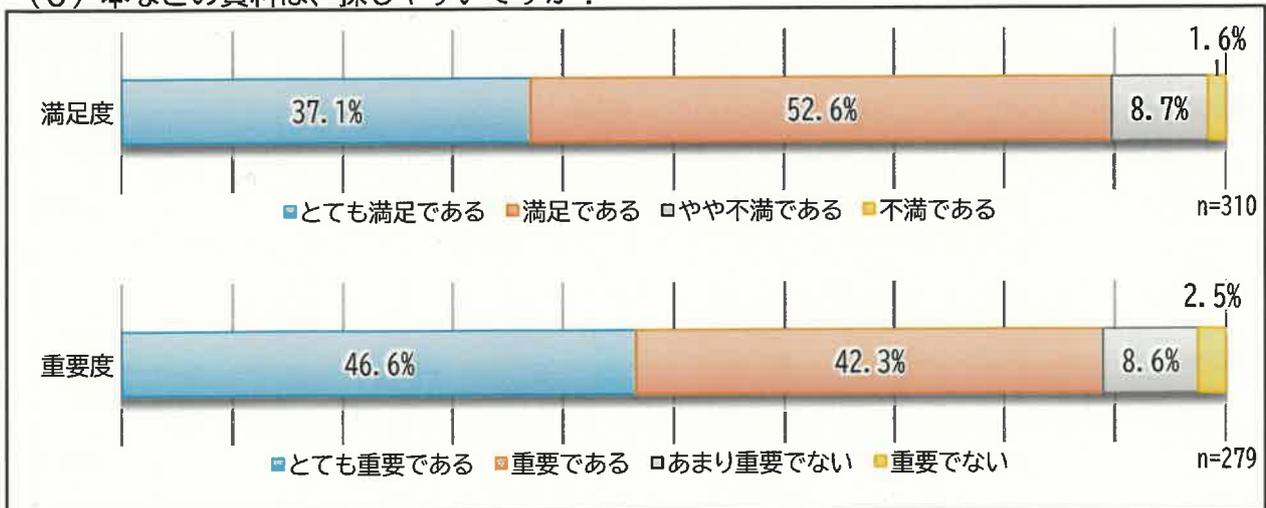
(4) 本などの資料は、題名が見やすいように整理されていますか？



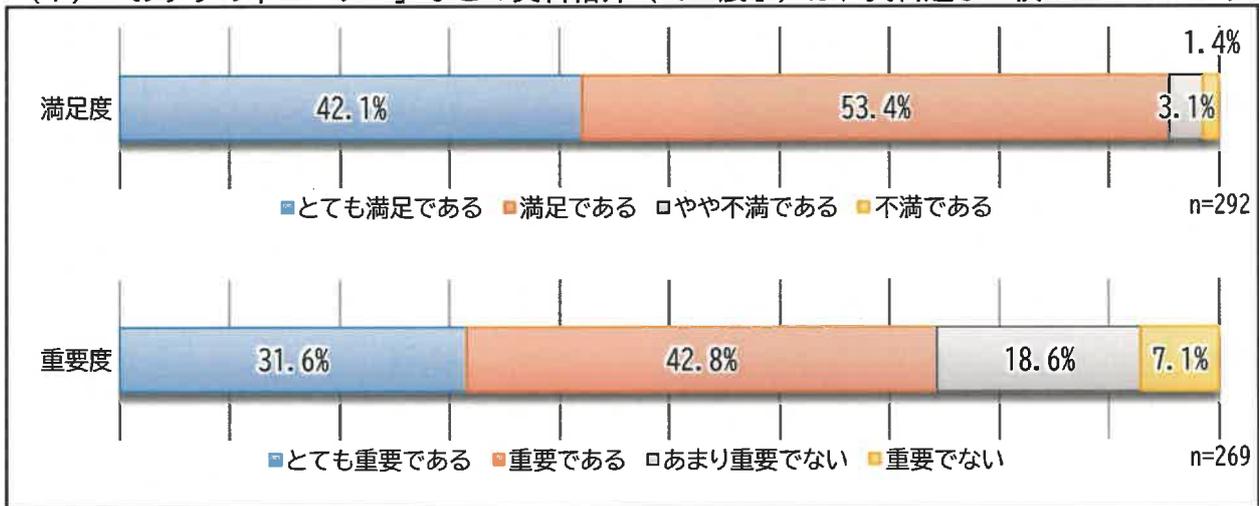
(5) 本棚の表示や館内案内図は、分りやすいですか？



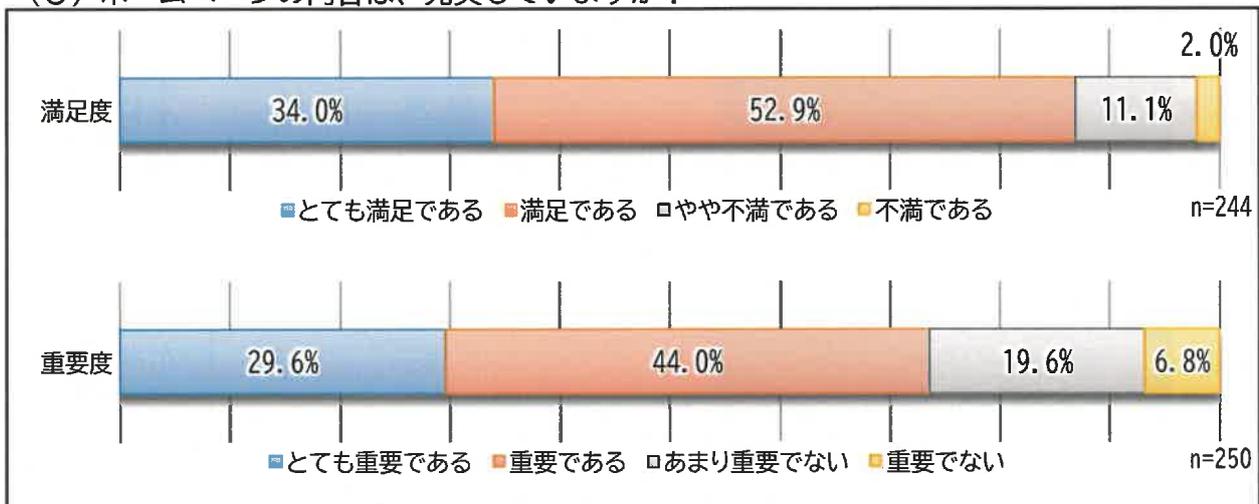
(6) 本などの資料は、探しやすいですか？



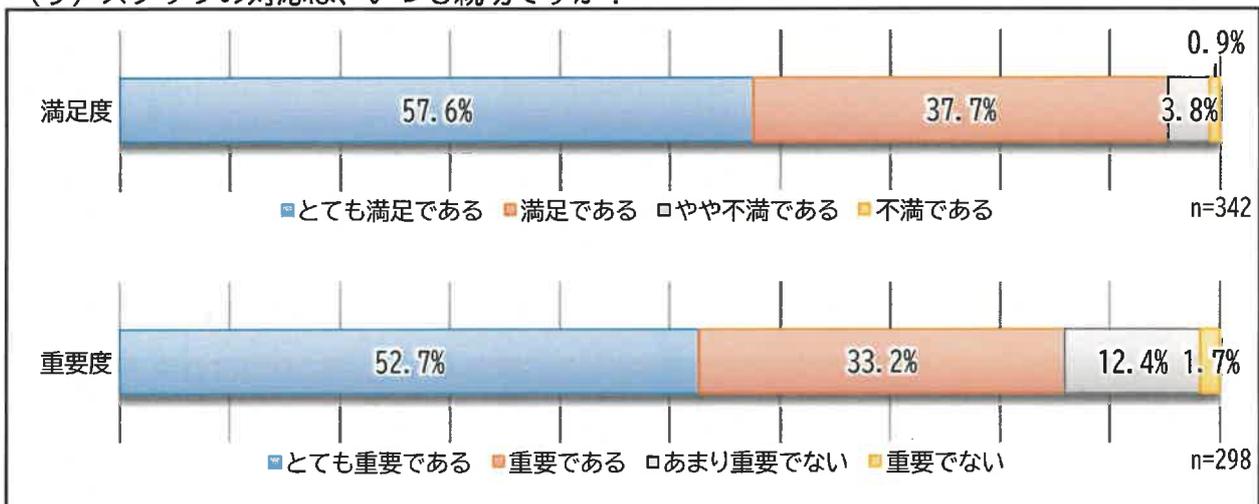
(7) 「おすすめ本コーナー」などの資料紹介（ミニ展示）は、資料選びの役に立っていますか？



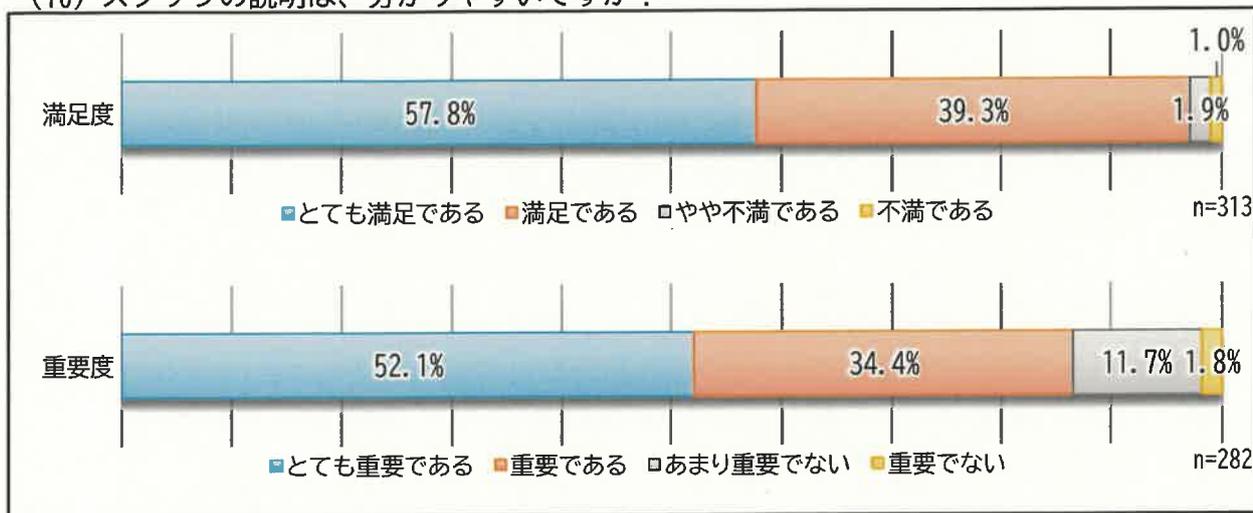
(8) ホームページの内容は、充実していますか？



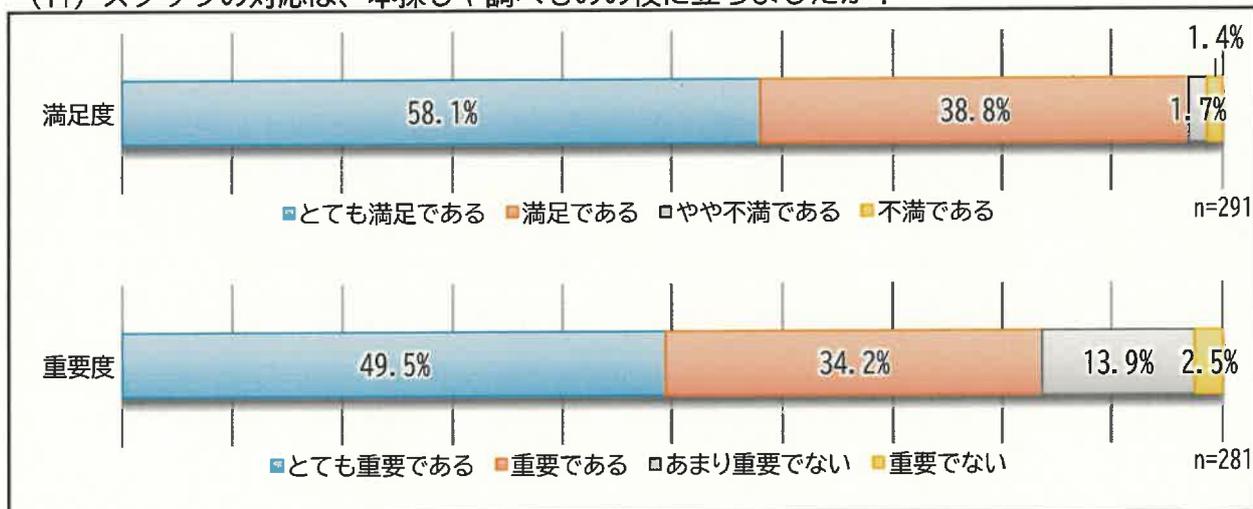
(9) スタッフの対応は、いつも親切ですか？



(10) スタッフの説明は、分かりやすいですか？



(11) スタッフの対応は、本探しや調べものの役に立ちましたか？



非来館サービス利用状況アンケート 【資料2】

昨年度実施したウェブアンケートは来館者アンケートとほぼ同内容であったが、今回は試験的に、当館ホームページを中心とした非来館サービス（来館せずに利用できるサービス）の利用状況を問う内容とした。なお、サンプル数が多くないため、設問2を除いて来館頻度によって回答者をグループ分けし、それぞれの傾向を検討した。以下、来館頻度が高い集団をグループA（設問1-2Aにおいて「月に数回」「月に1回程度」「それ以上の頻度」と回答）、来館頻度が低い集団をグループB（同設問で「数か月に1回程度」「年に1回程度」「最近は行っていない」と回答）としている。

1. 回答者の属性

年齢分布を見ると、30～50代が多く、この三世代で62.5%と過半数を占めた。他の年代はいずれも概ね10%前後であり、来館者アンケートとは大きく異なる結果となった。アクセス環境ではパソコンとモバイル端末の割合が6：4であった。現行ホームページはモバイル端末への対応が十分とはいえず、何らかの改善が必要な状況であると考えられる。回答者の居住地については、グループAでは「盛岡市内」が80%を占めた一方、グループBでは「盛岡市内」と「県内（盛岡市以外）・県外」がほぼ半々となっている。

2. 来館経験

当初の予想に反し、9割超が「来館経験あり」と回答した。設問1-2Bで「来館しない／来館しなくなった理由」を尋ねたところ、一昨年度まで行っていた非来館者アンケートと同様、「自宅・職場から遠い」が最多であった。

3. 当館ホームページの利用経験

ホームページの基本コンテンツについて、グループAはOPACやブックリストなどの蔵書関連情報を中心に、利用案内、イベント情報、広報物、催し物ヒント集などの利用経験が多い。一方、グループBは蔵書情報や利用案内の利用経験は多いものの、それ以外のコンテンツの利用経験はグループAより低い傾向がみられた。

4. 郷土関係情報データベースの利用経験

グループAは「岩手日報郷土関係記事検索」と「県内新聞・雑誌所蔵目録」の利用経験が多いが、その他のデータベースはいずれも利用経験が非常に少ない。一方、グループBは「岩手県立図書館郷土資料目録（和本の部）」と「デジタルライブラリーいわて」の利用経験がやや少なめであるものの、すべてのデータベースでグループAの利用経験を上回っている。

5. ホームページ以外の非来館サービスの利用経験

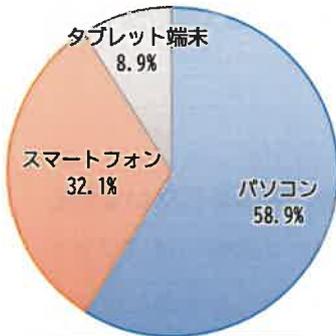
両グループともに利用経験は全体的に少ないものの、グループBの方が「電話やメールでのレファレンス」や「郵送での複写物の取り寄せ」の利用経験がやや多かった。

サンプル数が少ないため断定的なことは言えないが、直接来館者以外の非来館サービスの利用を伸ばす上では、郷土関係情報データベースの充実が有効であることが示唆されたものとする。

令和7年度 岩手県立図書館 非来館サービス利用状況アンケート結果

- ① 対象 : 岩手県立図書館ホームページにアクセスした方
 ② 実施方法 : 令和7年10月1日から令和8年1月31日までの4か月間、ホームページトップにアンケートフォームへのリンクを設置。56名の方から回答をいただいた。

■アクセス環境



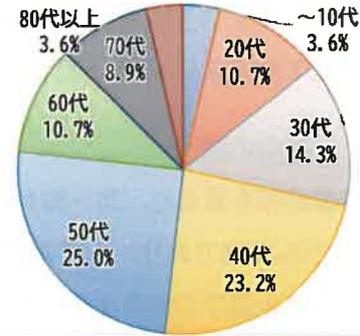
パソコン	33
スマートフォン	18
タブレット端末	5
その他	0

■お住まいの地域



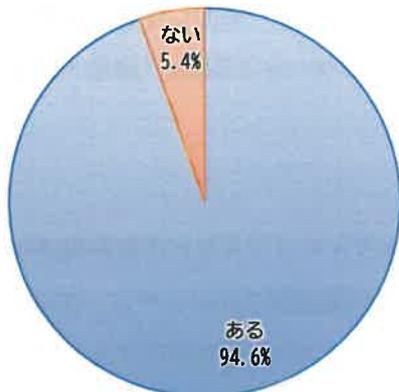
盛岡市内	37
県内(盛岡市以外)	11
県外	8

■年代



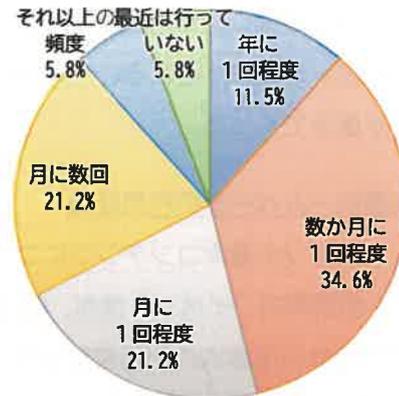
~10代	2	50代	14
20代	6	60代	6
30代	8	70代	5
40代	13	80代以上	2

1. 岩手県立図書館に来館されたことはありますか？



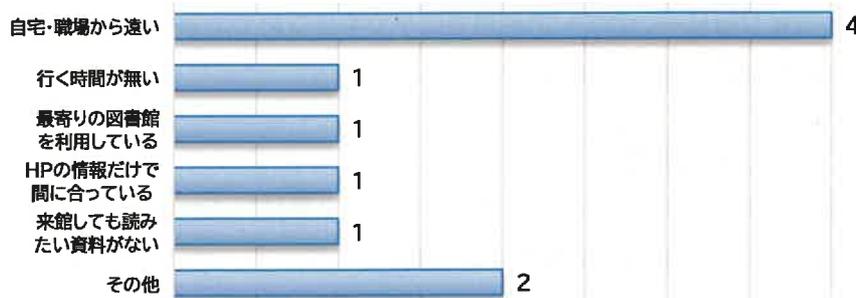
ある	53
ない	3

1-2A. どのくらいの頻度で来館していますか？



年に1回程度	6	月に数回	11
数か月に1回程度	18	それ以上の頻度	3
月に1回程度	11	最近は何も行っていない	3

1-2B. 来館しない、または来館しなくなった理由をお知らせください。(いくつでも)



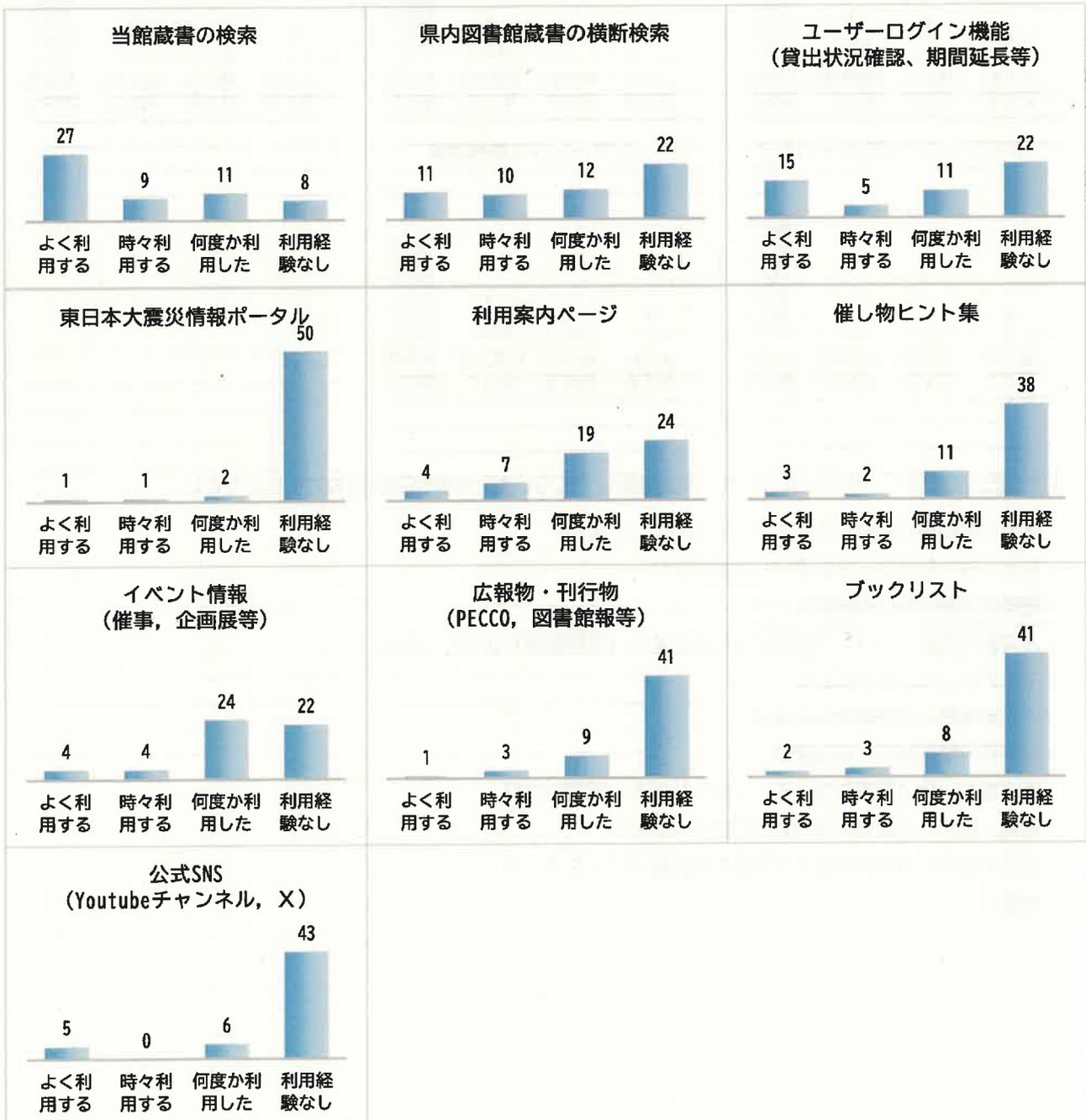
〈その他の具体的記述〉 目的の本が無い、本は買って手元に置きたい

2-1. 当館のホームページをどれくらいの頻度で利用していますか？

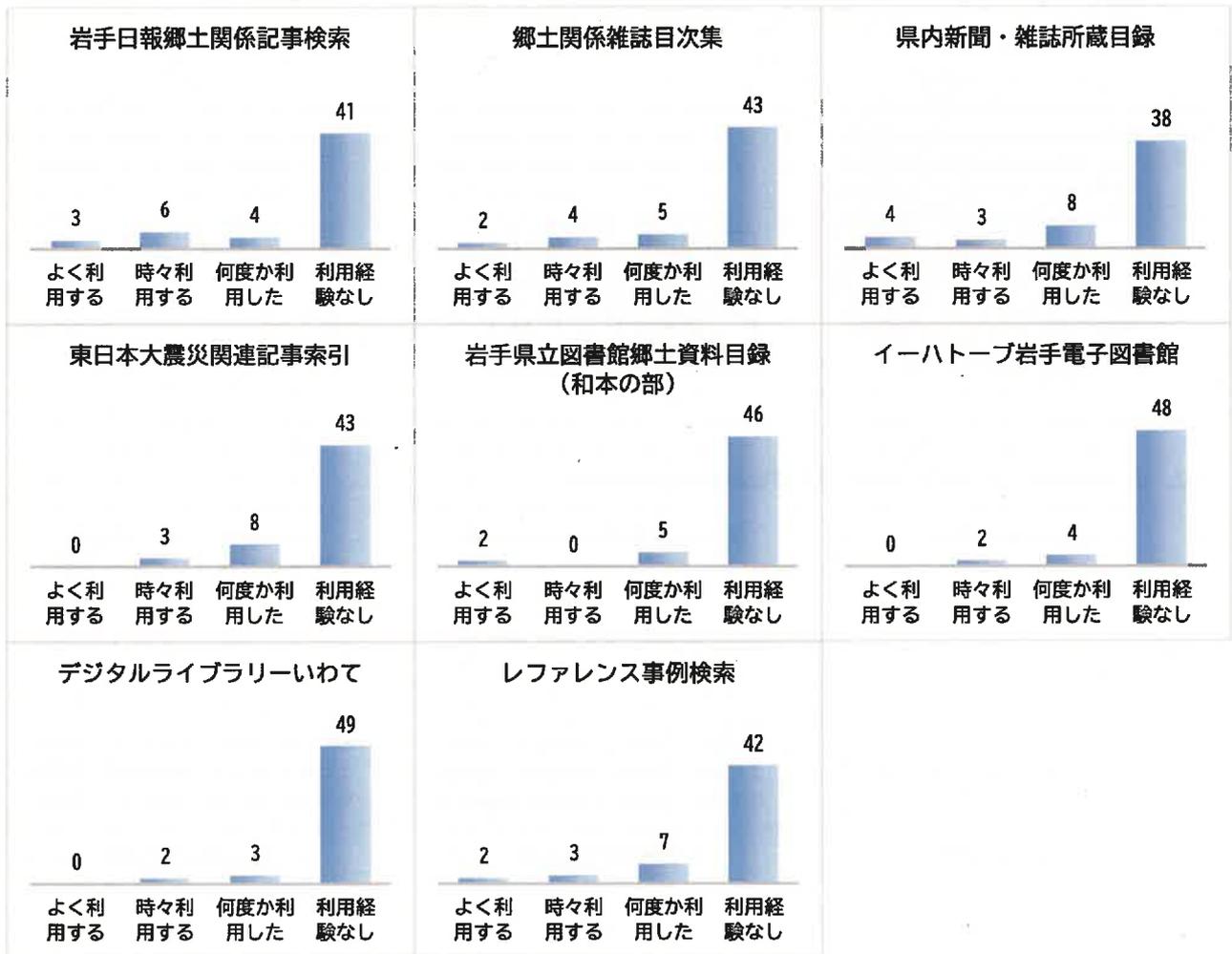


今回が初めて	4
年に数回程度	18
ひと月に数回程度	0
それ以上	10
無回答	24

2-2. 以下の機能・コンテンツの利用経験をお知らせください。



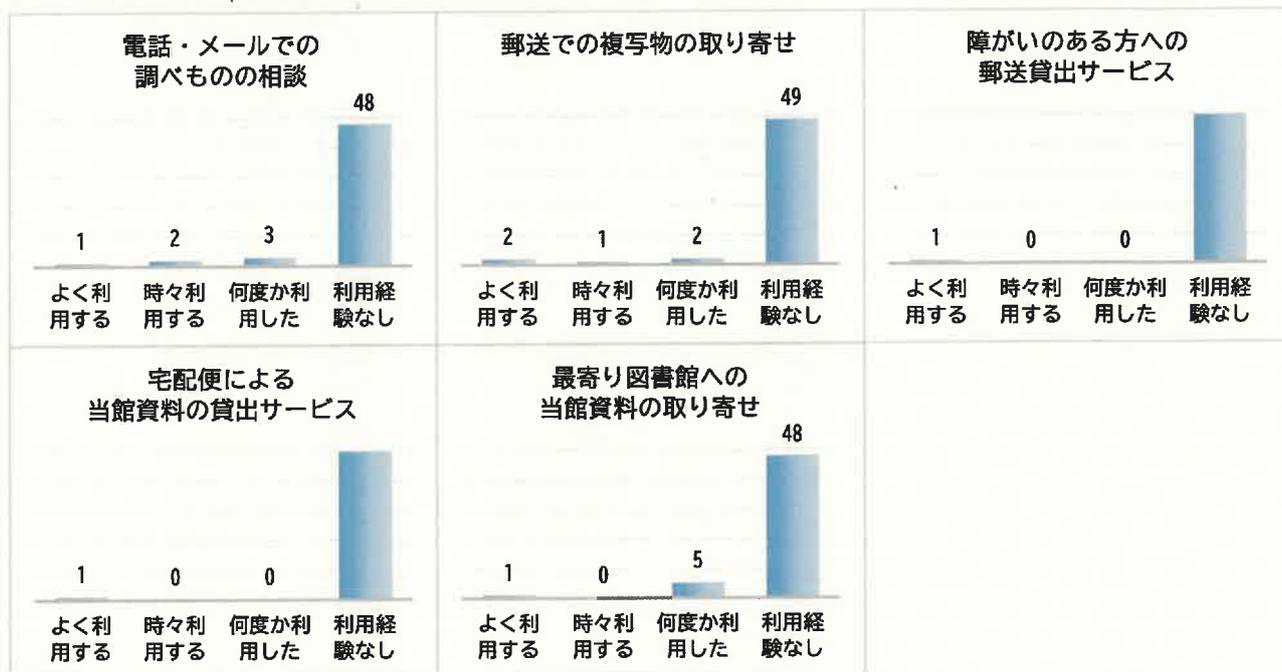
3-1. 以下の機能・コンテンツの利用経験をお知らせください。



3-2. 郷土関係のデータベースとして、今後追加してもらいたい内容があればお知らせください。

- ・岩手日報記事の見出しを検索できるようにしてほしい
- ・もっと古い記事データも追加して頂きたい
- ・盛岡市の昭和時代の航空マップ
- ・古文書や地図についての画像がよりみやすく（高解像度）なるとうれしい
- ・ネイチャーセンターだより
- ・先人記念館とかで紹介してる人
- ・岩手県の警察関連・司法関連
- ・東北地方出身の漫画家である、いがらしみきお関連の内容
- ・漫画、音楽、小説で盛岡や岩手が出てくるもの
- ・岩手と関わりの深い外国人文学者や芸術家のデータベース
- ・競馬

4-1. 以下のサービスを利用したことはありますか？



4-2. 来館せずに利用できたら良いと思うサービスがあれば、お知らせください。

- ・本の宅配。無料で。
- ・県立図書館で借りた本を、最寄りの公立図書館で返却できるサービス
- ・他館からの資料取り寄せをオンラインでお願いできるようにしてほしい。
- ・横断検索で他の図書館から岩手県立図書館への取り寄せをオンライン上で申請できるようになると嬉しい。取り寄せ受け取りのためと、返却時にも営業時間内に来館しなければならないので、せめて取り寄せ申請はオンラインで自分自身でもできるようになると大変助かります。
- ・電子図書
- ・読みたい本の内容を全編読めるといい。その際、利用者登録などが不要だといい。
- ・館内の図書をインターネット上で読みたい。そしてそこに更に、単語の検索機能があるとなお嬉しいです。
- ・郷土資料をネットで閲覧
- ・デジタルアーカイブの閲覧
- ・岩手日報の電子縮刷
- ・Naxosミュージックライブラリ
- ・県内図書館蔵書の横断検索ができることを知らなかったし、その資料の貸し出しが可能なら利用してみたい。
- ・特になし（2）

公衆送信サービスに関するアンケート 【資料3】

館内で実施した「来館者アンケート」と、当館ホームページで実施した「非来館サービス利用状況アンケート」の双方に特別項目として追加し調査を行った。来館者アンケートで1問以上に回答したのは309名、非来館サービス利用状況アンケートでの回答者は53名であった。

なお、利用したいジャンルとして「席の空き状況」「休館日の連絡」を挙げる、またサービスを利用しない理由を「あまり来館しない」「家が遠い」「営業メールは不要」とするなど、本サービスの内容を誤解していると考えられる回答が複数見られた。これらは、サービス開始時に趣旨を誤解する利用者が一定数存在することを示していると考えられるため、あえて除外せず集計対象とした。

Q1 図書館資料のメール送信サービスを開始した場合、利用しようと思うか

サービス開始後の利用可能性について、回答者の約3分の1が「利用してみたい」と回答した。サンプル数は多くないものの、ウェブアンケート回答者のほうが「利用してみたい」と回答する割合が高く、能動的な情報行動と相性の良いサービスであることがうかがえる。

Q2-1 どのようなジャンルの資料を利用したいか (Q1で「利用してみたい」と答えた方のみ)

自由記述のままでは分析が難しいため、便宜的にNDC及びいくつかのカテゴリに分けて集計した。

結果、最も利用ニーズが高いのは郷土資料であり、次いで3類(社会科学)、4類(自然科学)、7類(芸術)・9類(文学)、5類(工学・技術)と続いている。

「その他」には分類不能の雑多な回答をまとめた。禁帯出資料、重量のある資料、貸出順が回ってきづらい資料など現物利用が難しいもの、あるいはインターネットでは探しづらい情報など、具体的な対象は不明確ながら利用者の期待がうかがえる回答が多く興味深い。

Q2-2 利用しない理由は何か (Q1で「利用しない」と答えた方のみ)

大まかに4つのカテゴリと19の項目に分類できる。

カテゴリ別では「資料の利用ニーズがない」が83名と最多で、次いで「受信環境」が28名、「制度の複雑さや手続きの煩雑さ」が19名であった。「その他」として、「直接来館する」が9名、「個人情報漏洩への懸念」と「費用負担」を挙げた回答者がそれぞれ3名ずついた。本サービスは通常の複写サービスより費用が高額となるが、「費用負担」を理由に挙げる回答者は思いのほか少ない。そもそも利用する意思がないため、費用負担を挙げる必要がなかったのだろうと推測される。

以上から、公衆送信サービスの導入に際しては冒頭にも記載したとおり、何よりもまずサービス内容を正しく理解してもらうための分かりやすい説明が必要である。その上で、利用しない理由で明らかなおお、利用ニーズを喚起する何がしかの取り組みを行うことが、本サービスの利用促進の要になると考えられる。

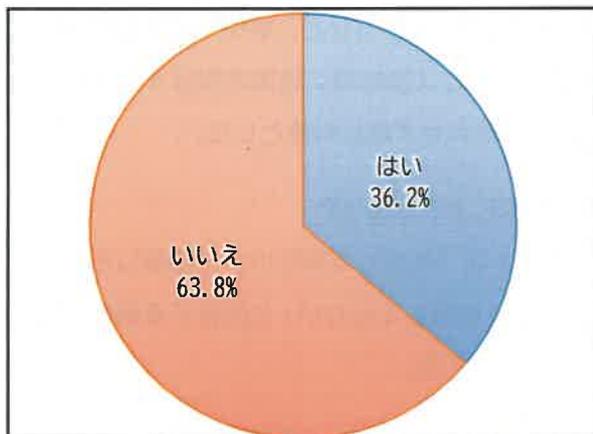
サービス導入後においては、当館独自の蔵書である郷土資料群の利用ニーズが高いことがうかがえ、郵送複写サービスと同様、部分的にレファレンスを伴う申し込みになるものと予想される。また、回答内容からは、周知次第ではあろうが郵送複写サービスよりも幅広いジャンルの資料ニーズが期待できるため、新たな利用者の掘り起こしができる可能性もあると考えられる。

令和7年度 特別調査 公衆送信サービスに関するアンケート

※アンケート回答者全員を対象とした設問。一つ以上の設問に回答したのは362名（来館309、ウェブ53）

※一つの回答内容に複数の分類要素が見られるものは、1件ではなく個別要素に分解し集計している。

Q1. もし当館で公立図書館における図書館資料のメール送信サービスを開始した場合、利用しようと思いますか？



	はい	いいえ	無回答
	131	231	109
うち来館者アンケート	100	209	106
うちウェブアンケート	31	22	3

Q2-1. (「はい」と答えた方) どのようなジャンルの資料を利用したいですか？

回答者数:120名

カテゴリ：回答数	内容
0類 : 2	ICT、情報システム
1類 : 2	哲学書（特に絶版で手に入りづらい）、倫理
2類 : 14	歴史関係、日本史、東北の歴史、海外の歴史、地誌、地名研究についての文献 等
3類 : 19	社会科学、法律、経済、金融、国の財政、統計、防災、介護、福祉、教育、学校の歴史、食文化 等
4類 : 15	サイエンス関係、数学、化学、鉱物・化石、生物、植物、医療、認知症 等
5類 : 12	工学関連、技術系の資料、電気・光学関連、回路図、PCの使い方、手工芸関係、料理 等
6類 : 1	農業・土壌
7類 : 14	美術関係、芸術分野、演劇、絵画、世界遺産、エンターテインメント、アニメ映像や表現に関する評論 等
8類 : 3	専門書（日本語教育、英語学習、英語の本）
9類 : 14	小説、短い小説、文芸書の新刊、源氏物語の現代語訳や解説、英米文学、ドイツ文学 等
郷土資料 : 28	郷土資料、岩手の歴史、住宅地図、古文書、古地図、県内の治安などの情報、宮沢賢治関連、岩手日報の古いもの、特に盛岡に関連した物語や考察、住宅地図、ブルーマップ、一般的な表層に出てきていない資料（AIがネットを探索して探してこれないもの）、岩手の著名な文学者関係の資料 等
逐次刊行物 : 9	新聞記事、雑誌 等
絵本 : 1	
学習・調べ物 : 12	辞典や図鑑、年鑑・白書、調べ学習で使うような資料、参考資料集、勉強に役立つようなもの、大学のレポート課題作成に使用できそうな資料 等
論文 : 3	

カテゴリ：回答数	内容
その他 :17	学問系、I-ルームの資料、古い資料、創作に役立つ資料、事件の資料、検査、ネットに情報が少ないもの、その時の生活や仕事に必要な物、禁帯出資料、図鑑等重くて普段館内閲覧しかできないようなもの、マンガなど多くの人が利用して借りる順番が回ってきにくいもの、厚いわりに確認したい箇所が少ない資料 等
サービスに関する情報：6	貸出期限の通知、空席情報、最新本のお知らせ、休館日連絡、イベント情報 等
特になし : 2	
無回答 :11	

Q2-2. (「いいえ」と答えた方) 利用しない理由を教えてください。

回答者数:162名

	カテゴリ：回答数	内容
資料の利用ニーズが無い	利用する予定・必要がない :49	必要性を感じない、今のところ必要がない、使う目的がない、そこまで高頻度にほしい情報がない 等
	資料を利用しない :10	資料を見ないから、勉強で図書館を利用しているため、本で調べる機会が少ないから 等
	図書館をあまり利用しない : 9	図書館をたまにしか利用しないので、あまり来ないから、メールをもらっても来館が難しい、家が遠い 等
	興味がない : 6	
	調査研究の用が無い : 5	調査研究目的で利用することがない、あまり調べものをする予定がない 等
	他の方法で間に合っている : 4	他に調べる手段がたくさんある、国会図書館の類似サービスに登録済み 等
制度	制度が難解 :12	仕組みがよく分からない、難しそう、調査研究とは何なのか 等
	利用手続きが煩雑 : 7	面倒、手続きが大変そう 等
受信環境	メールを見ない・あまり使用しない :15	あまりメールを見ない、メールは基本的に使わない、メール等の作業が苦手 等
	受信環境が整っていない : 7	スマートフォンなどを所持していない、自宅にPC環境がない、ファイルが重くなったりすると気になる、メールをこれ以上増やしたくない 等
	機器操作が不得手 : 3	本は紙が一番、液晶画面を見ながら操作するのが苦手、あまり得意ではないため
	迷惑メールに紛れる : 3	迷惑メールに埋もれる 等
その他	直接来館する : 9	実際に手に取ってみたいから、必要な時は出向く、実物を読みたい、図書館に足を運ぶこと自体が自分の癒し 等
	個人情報漏洩が心配 : 3	個人情報などが外部に漏れないか心配 等
	費用負担 : 3	却って時間やお金がかかる、支払った金額の一部が中抜きされるので直接書籍を買う、登録や別料金が発生しないか心配
	他県在住 : 2	
	今のサービスで充分 : 2	
	その他 :10	どのようなジャンルの資料があるのか分からないので利用できない、求めている内容がその都度違うため参考にならない、個人なので調査研究目的に該当しない、調査員・研究者ではないから、質問自体がよく分からない 等
	特段の理由はない : 4	
無回答 :70		

10代の図書館利用に関するアンケート 【資料4】

館内で実施した「来館者アンケート」でのみ調査を実施。1問以上の設問に回答したのは122名であった。なお、10代以外からも複数回答が寄せられたが、これらは調査目的にそぐわないため集計から除外した。

Q1 図書館にどのような本があれば良いか

回答内容は大まかに「学習・進路」に関するものと「それ以外」に分けられる。前者は世代固有の資料ニーズといえるが、参考書、資料集、過去問など、そもそも当館では収集対象としていない資料への要望が多い。いわゆる赤本については、秋田県立図書館や北海道立図書館のように、各道県内の大学に限って収集している例もある。場合によっては当館でも収集を検討できるが、利用ニーズが非常に高いと予想されるため、基本的には禁帯出資料になると考えられる。

学習以外の資料では「読み物」と「マンガ」が多く、続いて「話題の本」や「新刊書」が挙げられていた。個別の記述では、「初心者でも読みやすい」「最近人気の」「受賞作家の」「面白い」「時代に合った」など、ある程度評価が定まった資料を求める傾向が読み取れ、興味深い。また、NDC別に分けた回答では、回答者の進路希望と結びついていると考えられるものが多い点も印象的である。

Q2 図書館で開催してもらいたいイベント

大まかに「読書関連」「学習」「その他」の3つに分けられる。

読書関連の回答からは、誰かに勧められれば読んでみたいという、受動的ながらも読書を志向している層の存在がうかがえる。また、先の設問と同様に「どんな本を読めばよいのか」「おすすめの」「一定期間でよく借りられた」など、他者の評価を求める傾向が強い点が特徴である。さらに「交流」をキーワードとする回答が複数見られる点も注目される。

学習に関する回答は、学習環境の改善や学習意欲を高めるイベントを求めるものが多く、この世代の関心の中心が学業と進路選択であることを改めて確認できる。その他の回答は、おおむね娯楽的な内容であった。

Q3 図書館にあれば良いと思う設備やサービス

回答は「学習」「館内環境」「読書関連」「その他」の4つに分けられる。

来館者アンケートの集計結果でも明らかなように、この世代の主たる利用目的は館内での学習であり、同じ理由から滞在時間が長くなりがちである。このため、学習のカテゴリでは学習を捗らせるための設備やサービスを求める声が多く、館内環境のカテゴリでは「空調」「飲食スペース」「自販機」「椅子の改善」など、長時間の滞在を前提とした設備改善を望む声が目立っていた。読書関連については数は多くないものの、どうすれば10代の読書意欲が向上するかを考える上で興味深い回答が見られた。

以上から、10代の図書館利用においては、来館促進のためには学習スペースの機能と学習関連情報の充実、サービス利用の促進のためには同世代に訴求する資料の充実が必要であることが示唆された。後者については具体的な書名等が明らかになっている訳ではないので、今後の状況によっては別途のアンケート調査を行う必要があると考えられる。

令和7年度 特別調査 10代の図書館利用に関するアンケート

※10代の回答者を対象とした設問。対象となる164名のうち、一つ以上の設問に回答したのは122名。

※一つの回答内容に複数の要素が見られるものは、1件ではなく個別要素に分解し集計した。

Q1 図書館にどのような本があれば良いと思いますか？

回答者数:115名

カテゴリ：回答数		内容
学習・進路	参考書、資料集 :18	学習参考書／各科目参考書／資料集 等
	勉強に役立つ本 :12	勉強の仕方・コツについての本／探究学習で使える本 等
	進路選択 : 6	進路／将来の夢が見つかるような本 等
	職業・資格 : 4	職種別の生の声／働くことのイメージが湧く本 等
	赤本、過去問 : 4	赤本／問題集／共通テスト過去問 等
	受験 : 2	受験対策の本 等
	大学紹介 : 2	大学の資料／県外の大学の資料やパンフレット
それ以外	小説・読み物 :15	ファンタジー系の本／短い小説／現代小説（ライトノベル以外）／シリーズもの／ミステリ／初心者でも読みやすいもの 等
	マンガ :14	少女漫画／鬼滅の刃／物語の漫画／岩手ゆかりの漫画家の作品 等
	話題の本・面白い本 : 6	最近人気の本／本屋大賞などの受賞本／受賞作家の本 等
	新刊書 : 4	最新の本／新しい小説 等
	ライトノベル : 3	名作のライトノベル／アニメ化されているもの 等
	雑誌 : 2	
	1類 : 2	哲学・心理学／自己啓発
	2類 : 7	歴史／ヨーロッパの歴史／地域や県などの歴史 等
	3類 : 5	経済／社会情勢／岩手の統計／職業図鑑
	4類 : 3	元素・化学・物理学・数学／天文学／植物・生物・毒
	5類 : 2	地球環境／自動車
	6類 : 2	農業・土壌／林業
	8類 : 2	言語を学べる本／貸出可能な辞典
その他 :16	世界の広さを感じられる本／大人への一步を教えてくれる本／時代にあった本／部活に関わる本／珍しい本／意外な本／息抜き用のトランプ	
今のままで充分 : 3		
特になし・分からない: 7		

Q2 図書館で開催してもらいたいイベントはありますか？

回答者数:74名

カテゴリ：回答数		内容
読書関連	おすすめ本の紹介 : 6	どんな本を読めば良いのか説明する的なイベント 古い本から新しい本まで高校生におすすめの本を紹介 職員がおすすめする本を借りることができる 一定期間に借りられた本ランキング 様々なジャンルの小説の紹介 等
	交流イベント : 4	読書交流会／本を通じた大人と子供の交流イベント／ビブリオバトル 等
	本・読書イベント : 4	本が好きな人やあまり読まない人でも参加できそうなイベント 本のあらすじを考えたり自分で本の一部を考えてみたりするイベント 本を読むことの大事さについて詳しく知れるイベント 絵本の読み聞かせ
	作家講演会 : 2	
学習	勉強会 : 5	勉強が楽しくなるイベント／中高生の受験などに向けた勉強会 等
	進路・進学 : 2	進路・進学に関わる本の特集／研究者の人に会いたい
	学習環境整備 : 2	自習室づくり／中学生・高校という風にその日（午前・午後）はその学年専用というようなイベント
その他	講座・講演会 : 5	歴史のイベント／SDGsについて学ぶイベント／ハンドメイド／賢治関連のイベント 等
	体験イベント : 2	司書体験などの体験型イベント／仕事体験説明会
	その他イベント : 3	クイズ／お笑いライブ／ハロウィンパーティー
	特になし : 42	

Q3 図書館にあれば良いと思う設備やサービスがあれば教えてください。

回答者数:85名

カテゴリ：回答数		内容
学習	学習環境 : 14	広い学習スペース 一人で使える仕切りのある部屋 立って勉強できる場所 グループ学習用の部屋を無料で借りられるサービス
	進路・進学・学習 : 3	進路選択に活用できそうな本のコーナー 受験対策講座 勉強を教えてくれるサービス
館内環境	空調管理 : 6	エアコン設備強化／クーラー／夏はもっと涼しくするべき
	wi-fi環境 : 5	時間制限無しにしてもらいたい／フリーwi-fiの安定的な供給
	飲食・多目的スペース : 5	自由に会話ができるスペース／飲食可能で勉強できるスペース
	カフェ・自動販売機 : 5	
	椅子の改善 : 4	椅子にクッションを付けてほしい 椅子を引いた時に音が鳴らないようにする
	BGM : 2	
読書関連	読書の促進 : 3	本を読みたい人が座れないことがあるので勉強と読書で席を分ける 100冊借りるごとに図書カードをもらえる 来館者にもっと本を借りてもらえるサービス
	おすすめ本の紹介 : 2	司書のおすすめ本のポップ展示 読みたいジャンルや雰囲気を書くとお勧めの一冊を教えてくれる
その他	その他 : 7	テラス／駐輪場を大きくする／指定席予約サービス（有料）／館内の混雑状況・予測を示すもの／耳で聞いて読めるサービス／気軽に意見を寄せられる問合せフォーム（メールではなく）／本がどこにあるか調べられるタブレット
	今のままで充分 : 5	
	特になし : 27	

